

その他の輸送用機械等製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	15～16	厚生棟のトイレ前の手洗い場で、トイレ休憩後、熱中症をおこし、転倒しコンクリート面に頭を強倒して倒れ、くも膜下出血と診断された。	44～	500～999
4	17～18	就業終了後、帰宅する為マイカーに乗るときに転んで膝を打ち、痛かったがそのまま運転した。自宅駐車場で降りて痛みから再び転び、同じ左膝をアスファルトで強く打った。翌朝に腫れて出血し、身動きがとれなくなった。	57～	10～29
4	15～16	駅周辺の公道で、電動アシスト自転車の試作モーターの最終評価のため、モーターを車体に取り付け、公道を走る実走試験を行っていたとき、重いギアに変えた状態で赤信号停止後青信号になったので左足でペダルを踏み込もうとしてバランスを崩し、右肩から路面に転倒した。	56～	300～499
11	7～8	15kgの荷物を運ぶ途中バランスを崩し転んでしまった。	68～	10～29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)